

ドミニカ共和国

概要：2011年1月よりWFP日本の支援を受けて実施。エイズ予防教育セミナーには「フリーティーンズ」と「エイズ時代に生きる」、家庭再建教育セミナーには「人格教育セミナーテキスト」「アモール・プーロ」の教材を使用して実施。女性をはじめ地域の青少年の社会道徳、倫理観の退廃が激しく、国としても精神的自立教育の方策を必要としていた。しかし、国の対策は十分でないことから、WFPの教育内容に賛同する教育者や学校からの依頼が相次いだ。また、女性政治家や長年地元でNGO活動をしていた女性もWFPの理念に感動し、共に協力して組織的な教育活動を行っている。

ワールド・データ・アトラスのデータによると、ドミニカ共和国の15～49歳のHIV感染者は、1999年に2.4%だったが、2016年には1%に減少した。

実施状況

【2017】

- ピジャリンダ地域の公立ルディ・マリア・コマス・バティスタ中学校・高校（日本の中学3年～高校3年）で1月～5月、9～11月の8ヶ月間、全校生徒対象に、倫理道徳カリキュラムのセミナーをWFPで担当した。
- 5月31日、ルディ・マリア・コマス・バティスタ中学校・高校の「十代の妊娠問題」の講義の後、WFP日本の思春期講座インストラクターである菊池派遣員が自己抑制について講話。その後校長先生、オリエンテーション担当教諭が参加し、全カリキュラムを修了した31人の生徒たちに修了書を授与し、文房具もプレゼントした。

【2018】

- ルディ・マリア・コマス・バティスタ中学校・高校の校長先生から依頼があり、公立学校の学年末に実施される倫理道徳カリキュラムのセミナーをWFPで引き続き担当することになった。1～3月、5月、10～11月の6ヶ月間、毎回全校生徒の中から、いじめを受けたり、家庭問題や問題行動のある生徒30人を対象に実施。1年で48回の講義を行い、のべ828人の生徒が参加した。学校のオリエンテーション担当教師とWFP講師と一緒にカリキュラムを作成している。
- 4月15日、国立UASD大学にて、教育学部の230人の学生と4人の教授を対象に、道徳教育の授業を実施。
- 10月1日、エイズ予防教育の講師育成講座を開催。ニカラグア、ハイチ、コスタリカの世界女性平和ネットワーク（GWPN）大会参加者が12人参加。
- 10月19日、道徳教育授業を続けてきたルディ・マリア・コマス・バティスタ高校からの紹介で、エリザベス・ランティグア・ボニーヤ高校で道徳教育の授業を実施。
- 11月19日、アルカリソ市の協力で「純潔運動カルチャーフェスティバル」を開催し、500人の若者と住民を純潔運動の行進に動員。純潔運動のスローガンを叫んだ。多くのスポーツ団体や若者のグループからの参加があった。
- 12月1日、大統領夫人オフィス・青少年担当部門と心理学教諭団体と共催で純潔教育セミナーと家庭再建セミナーを実施。

実施状況	セミナー	回数	人数
2017	道徳教育授業	32	921
	純潔教育セミナー	1	300
	家庭再建セミナー	6	129
	エイズ予防教育講師育成講座	1	15
	合計	40	1,365
2018	道徳教育授業	50	1,062
	純潔教育セミナー	5	234
	家庭再建セミナー	6	670
	合計	61	1,966



参加者に文房具をプレゼント



アルカリソ市と共催の純潔を叫ぶ行進

カリブ海地域で他に取り組んでいる国：ジャマイカ